

天沼中だより

令和5年5月22日
杉並区立天沼中学校
自主・自律・共生



<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

持続可能で、「みんなの」しあわせを創れる、天沼中学校を目指して

校長 松尾 了

新年度が始まり、約1か月半が過ぎました。4月中は主に新しい環境へ慣れるための教育活動から、5月の連休があげまして、1年生はフレンドシップスクールが終わり、今週は運動会があり、いよいよ本格的に本校の教育活動がスタートします。ご家庭でのお子さんの様子はいかがでしょうか。

4月の全体保護者会でのご挨拶にてお伝えさせていただきましたが、改めましてお子さんが素敵な成長を遂げられるようにとの思いから、今年度の本校の教育活動に関わります方針の一部をお伝えさせていただきます。

◆「キャリア教育」と「SDGs」

昨年度に引き続き「キャリア教育」と「SDGs」の考え方を意識して、教育活動を進めてまいります。「キャリア教育」と言いますと進路指導と混同されやすいイメージがありますが、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることです。具体的な要素としては、コミュニケーション力、自己の役割の理解、原因の追究や課題発見、多様性の理解なども能力や態度の一部となります。つまり、職場体験や進路への取組ばかりではなく、さまざまな活動を通じて育成するものです。

「SDGs」については、「持続可能な天沼中」の実現に向けた意識づくりを行ってまいります。本校は特色として「ことだま」「防災教育」「ボランティア」「伝統文化」「小中一貫(AKA)」などの活動を行っています。さまざまな取り組みを通じ、お子さんの力がのびるきっかけとなるように取り組んでまいります。教職員の異動や生徒の雰囲気の変化は学校の宿命ともいえることです。本校の特色ある教育活動を持続可能とするべく、時代やニーズに合わせ変化させていくことが大切です。一例ですが、昨年度から「ことだま100選」の取組に朗読を加え地域や保護者のご協力をいただきながら「今後も末永く持続可能」にするための工夫を行ってまいります。

◆アフターコロナを見据えた教育活動

今年度は、地域・保護者・学校が連携した活動が徐々に再開されるものと推察しています。コロナ禍においてさまざまな活動の意義や本質を考えることができたことで、「アフターコロナ」＝《単純にコロナ前の活動状況に戻す》ことだけが、必要なことではないと考えています。「新たな取り組み、枠組み」が必要となるものもあれば、「コロナ前に戻さない方がよいこと、戻してはならないもの」もあるのではないかと考えています。「無理なく持続可能」な取組を工夫し、教育活動を行ってまいります。

◆「いのちの教育」の実施

本校の生徒はご家庭のご協力もいただけて、とても素直で、物事に対して前向きに頑張ろうとする雰囲気があります。ですが、生徒が自分で設定した目標を達成できなかったときや、保護者や教員をはじめとする大人の期待に応えられなかったと生徒自身が感じたときなど、必要以上に自責の念や不満感を抱きすぎてしまう様子が見られる場合があります。結果などよりも「そこに自分という存在がいて、頑張ること、行動すること、チャレンジしていくこと」や「生きていること、そのもの」の大切さと価値を伝えていくなど、昨年度同様に、いのちの教育を進めてまいります。

◆「教員の働き方改革」についてのお願い

校長の思いとしては教員の本務は、「生徒と直接関わり教育を行う」ことだと考えています。加えて、社会情勢を鑑みますと、学校はさまざまなコンプライアンスやニーズに応えることも必要な時代です。私が個人的に調べた概数ですが、公的、関係機関からの「調査、報告、対応、確認」の依頼は昨年度1年間で1572件ありました。(電話や書面の件数を加えるとさらに多くなります。)この依頼はコンプライアンスとしても必要なもので、学校運営や学校の信頼に関わるものもあります。つまり、現代の教職員は、日常の授業や行事の他に、(教育の専門外である)機器管理を含めたGIGAスクールへの対応、宿泊行事の業者との会計を含めた折衝、そして、この1500件を超える依頼など、多くの対応をマルチタスクで日常的に行っています。学校の教育活動において「必須なもの(主に授業)」「やった方がよいもの(主に部活、行事など)」のうち保護者・地域の方々のお気持ちや生徒の皆さんの思いとしては、「やった方がよいもの」への期待が高ことは承知しております。皆さんのご期待に添いたいとは思いますが、教職員の時間及び心的余裕、生徒と直接関わる時間を確保することで、教育効果を高めるためには、教育活動や内容の精選をさらに進め、より充実した教育環境を整えることが必要と考えています。ご理解をいただけますようお願いいたします。

「杉並区教育ビジョン2022」にもありますように、すべての人が「一人ひとりが教育の当事者」として、「みんなのしあわせを創る」ことができますよう、今年度1年間、ご理解とご協力をどうぞ、よろしく願いいたします。

地域交流会

縦割り活動・引き渡し訓練

4月22日(土)



今年度最初の土曜授業。「学校を支えてくれる地域、保護者の皆さん」を知る地域交流会を実施しました。昨年度までは、各教室でのバラバラの授業でしたが、今年は体育館に全校が集まった一斉授業となりました。本校の教育活動の特色として、様々な外部人材と協力した教育活動が挙げられます。その一例として当日は、「CS(学校運営協議会)」「PTA」「学校支援本部」がどのように学校と関わり、何をしているのかを学びました。

3学年全ての生徒が交流する「縦割り活動」では、1, 2, 3年生の混合班によるカードゲームを使ったレクリエーションを行いました。初めて見るカードゲームに困惑しながらも、3年生が中心となり、1, 2年生をリードしながら取り組むことでリーダーシップと連携力を育みました。



3時間目には震災等の災害に備え、天沼小・沓掛小との合同引き渡し訓練も行われました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



放課後には、災害食の講演に有志のレスキュー隊員達が参加しました。

離任式

5月1日(月)



昨年度までお世話になった教職員の方々へ感謝の気持ちを伝える離任式が実施されました。ご来校された方には「花束」が渡され、代表生徒が感謝の言葉を読み上げてくれました。離任された方々も4年ぶりに聞く、全校での校歌と「TOMORROW」の合唱の歌声が美しく響き、去られた方々の心に残る式になりました。

おしゃべり ウィーク

4月27日・28

日・5月8日

おしゃべりウィークは天中の特色の一つで、気軽に、先生方となんでもおしゃべりする時間です。全教職員のうち、だれとおしゃべりをしたいか全校生徒に希望をとって3日間実施します。成長著しく、気持ちが不安定になりやすい中学校3年間、悩みを一度ももたない生徒はいません。学校や学級になじめない、困難を抱えているけれどはっきり自覚できない、先を見通せない、うまくいかない、などの「もやもや」を言葉に出すことによって少しでも前を向けるように、また、いろいろな先生と仲良くなって、困ったときに相談しやすくなるように、との願いで、天中で10年以上続いているものです。夏休み(三者面談期間)には保護者の方の「おとなおしゃべりウィーク」も希望制で行います。お楽しみに。

フレンドシップスクール

群馬県利根郡みなかみ町

5月10・11日

当日朝、バスが1台配車されないという予想だにしないトラブルから、スタートしたフレンドシップスクールでしたが、生徒たちは落ちついてしっかりと行動していました。



目的地に着き、最初のプログラムは大縄跳びの練習です。



今回のフレンドシップスクールの目標は、学校目標と同じ「自主・自律・共生」です。生徒の実行委員長

からは、「①友達との交流を深める ②集団生活を通して社会性を身に着ける ③安全に行動する」の3点が目標として挙げられました。仲間と協力して活動することで絆を深め、周囲のことを考えながら責任感をもって行動する。フレンドシップスクールは1年生最初の宿泊行事として重要な役割を持っています。



昼食のおかわりには
長蛇の列が…

フレンドシップスクールのメインとなる「チームビルディング」では、様々なアクティビティーを通して「チームとして活動・協力すること」を学びます。入学してから1か月間で育んだ1年生の力の見せ所です。体を動かすアクティビティーだけでなく、みんなで相談して課題に取り組むプログラムも行いました。



宿舎での班会議も大切な取組です。自分の仕事に責任感を持って生活します。

2日目の昼食は飯ごう炊さんを行いました。自分たちで苦労して作ったカレーの味は格別です。青空の下、みんなでおいしく食べながら今回のフレンドシップスクールは幕を閉じました。

東京に戻ると残念ながら雨が降っていましたが、お迎えに来ていただいた保護者の皆様、マチコミで配信していただいたPTAの皆様、準備をくださった皆様と様々な方々にご協力いただいたフレンドシップスクールとなりました。ありがとうございました。



《保護者の皆様へ》 今年度の運動会（5月27日実施予定）

今年度の運動会も昨年度までと同様に午前中に競技が終わるようプログラムをしております。昨年度は保護者の方お一人お一人のご理解ご協力により、円滑に競技を進めることができました。今年度もぜひご協力をお願いいたします。注意事項ばかり多くて申し訳ありませんが次の内容をご確認ください。



キンボール練習スタート

- 来賓の方々には今年度もご案内いたしていません。
- 敬老席、保護者席（イス）のご用意はありません。簡易イスや敷物をお持ちになっても結構です。
- 生徒一人につき、お二人まで（基本保護者）注1ご参観いただけます。プログラムにはさんでお配りする「**入場カード（黄色）**」にご記入のうえ、当日必ずご持参ください。原則、再発行はしません。
- 途中退場して再入場を希望される方は当日退場の際に受付にお申し出ください。
- 午後の閉会式（13：15～予定）もご参観を希望される方は、一度ご帰宅いただき、再入場をお願いいたします。（昼食用に体育館の開放はいたしません）
- 自転車でのご来校はお断りしています。路上に駐輪することもおやめください。PTAの係の方に巡回をお願いしています。
- 手洗い、手指の消毒をお願いいたします。体調がすぐれない場合はご来場をご遠慮ください。保護者の方も水筒をお持ちください。今年度もゴミ箱の設置はいたしませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 撮影は、通信端末でない機器をお使いいただくようお願いいたします。また、他のお子さんが写り込んだ画像の扱いにはご注意願います。（以前、画像が不特定多数に配信された事件があったため）
- 大声での声援はできる限りご遠慮ください。

注1：入場カードを持った方のみ、1枚につきお一人ずつ、ご参観いただけます。卒業生や他校の友だちを呼ぶことはできません。（きょうだい在校生にいる場合のみ、卒業生も一人として参観可）

また、未就学児については一人とみなしませんが、安全上の配慮として、子どもが保護者から離れて遊ぶことが絶対にならないように保護者の方の監督のもと、お連れください。

今年も「言霊百選」がスタートしました。

天沼中学校の特色的な教育活動の一つである「言霊百選」が今年も始まりました。4月25日から始まった朝の活動には教職員だけでなく、たくさんのPTA、保護者の皆様にご協力いただいております。

子どもたちの学習活動の意欲向上に欠かせないのが、周囲の大人による「見取り・価値づけ」です。学習活動に取り組む姿や経過を大人が「見取り」、取り組む姿勢や活動の結果を大人が「価値づけ」することは子どもたちの自主性を育てる上で重要な取組です。ご協力ありがとうございました。

5月30日からは英語で行う「KOTODAMA100」も始まります。

たくさんの方々のご参加をお待ちしています。



天沼検定
言霊百選 26

春眠 曉を覚えず
処処 啼鳥を聞く
夜来 風雨の声
花落つること 知る多少

春眠 しゅんみん
曉 あかつき
処処 しょしょ
啼鳥 ていじょう
夜来 やらい
風雨 ふうう
花落つること はなおちること
知る多少 しる多少

春眠 曉を覚えず
処処 啼鳥を聞く
夜来 風雨の声
花落つること 知る多少

春眠 曉を覚えず
処処 啼鳥を聞く
夜来 風雨の声
花落つること 知る多少

春眠 曉を覚えず
処処 啼鳥を聞く
夜来 風雨の声
花落つること 知る多少